



日本赤十字社の NHK 海外たすけあい募金に取り組みました！



本年度、日本赤十字社の青少年赤十字加盟校となったことをきっかけに、児童会を中心に、NHK 海外たすけあい募金に取り組みました。皆さん方の御協力で、短期間であったにもかかわらず、募金が **6,720**円も集まりました。御協力ありがとうございました。

早速、日本赤十字社事務局の吉田様に来ていただき、運営委員会の子どもたちが、募金を手渡しました。この募金は、日本赤十字社を通じて、コロナ禍の世界各地で、紛争や自然災害、感染症などに苦しむ人々のために役立てられるそうです。自分たちにできる身近な社会貢献を考えるきっかけとなりました。

～学校での新型コロナウイルス感染症対策について～

あれだけ猛威を振っていた新型コロナウイルス感染症も、やや落ち着きを見せ、町の賑わいも戻ってきたように感じます。現在、「学校の新しい生活様式」は Ver.7 となり、レベル0（感染者ゼロレベル）となります。しかし、新たな変異株オミクロンが世界的に猛威を振っており、油断はできません。

本校では、文部科学省、県、市教委の指導を受けて、集団感染のリスクへの対応を以下のように行っています（感染レベルによって間隔の距離等条件が変わることがあります）。

【3つの密を避ける（換気が悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面）。】

- (1) 常時換気（エアコン使用時においても）、機器による二酸化炭素濃度の計測。
- (2) 児童同士の間隔を、1メートルを目安に学級内で最大限の間隔をとるように座席を配置。
- (3) 身体的な距離が十分とれないときは、原則マスクを着用する（人が密集する場面・場所）。
ただし、① 十分な身体的距離が確保できる場合は、マスクの着用は必要ない（登下校の際など）。
② 気温・湿度や暑さ指数が高い日には、熱中症などの健康被害が発生するおそれがあるため、マスクを外すこと（命に関わる危険があることを踏まえ、熱中症への対応を優先させる）。
③ 児童本人が暑さなどで息苦しいと感じた時などには、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、自身の判断でも対応できるように指導する。
④ 体育の授業においては、マスクの着用は必要ない。

となります。また、アレルギーなどでマスクの着用が難しい場合は、個別に対応していきます。感染から身を守ること、コロナ対策も大切ですが、行き過ぎたマスク警察は差別につながります。相手の立場や考え、体調、家族事情等を尊重し、お互いに嫌な思いをしない・させないように普段から心がけることが、さらに大切だと思います。

三原に吹く風

長崎市は、最終的には離島部を除く全ての小・中学校の給食を、給食センターから配送でまかなうよう方針を決定しました。その第一弾として、北部学校給食センター（仮称 長崎市三重学校給食センター）が来年1月から稼働し、市内24校に配送されます。本校もその一校として、3学期から新しい形で給食がスタートすることになります。（令和8年9月に中部給食センターに移行予定）そのため、今まで本校の給食を温かく、おいしく食べられるように尽力された大友ゆかりさん、木村加代子さんの2名の調理員さんと今まで長きに亘って、三原小の給食を陰で支えてらっしゃった代替職員の小原利子さん、泊君江さんが、2学期いっぱい本校を去ることとなりました（木村加代子さんは配膳員として、3学期から職種を変えて、本校を担当していただきます）。



戦前は、貧困児童の救済を主な目的とした学校給食も、現在では食育、健康教育を中心とした目的に変化しており、総合的に判断してセンター方式へ変更されるのは時代の流れなのかもしれませんが、やはり見知った顔の調理員さんたちが一生懸命給食を作っていた姿が見られなくなると、どうしても寂しさが先に立ってしまいます。

本校児童と教職員合わせて約200名の給食を、毎日たっただお二人で作っていただいたご苦労に感謝し、四名の方のこれからの健康と御活躍を心から願っております。本当にありがとうございました。

宮原のつぶやき

年末となり、いよいよ新しい年を迎えます。私たち教員は28日の御用納めまでは、書類の点検などで学校に勤務していることが多いので、それが終わったら短期間で、家の大掃除（今流行りの断捨離ですね(^^)）や年賀状作成、年始を迎える準備とバタバタして、新しい年を迎える準備をすることが多いです。これまで大きな事故も病気もなく、子どもたちが元気に登校できたことに感謝し、来年が皆さんにとって良い年になるように願っています。よいお年をお迎えください。

三川地区育成協主催「門松づくり」に行ってきました！



前日(12/18(土))は、小雪も降る中、10時に三川中に集合して、30本ほど竹を切ってきてくださったそうです。それを各地域・学校ごとに組んでいただいていたいました。

当日(12/19(日))は、8時に三川中に集合され、すでに各地域・学校ごとに門松づくりがスタートしていました。三原小は若干出遅れと奥ゆかしさから、すでにより材料はしっかりと確保されていた(^-^);



10時30分には中学生が、10時45分には小学生が受付を終わり、11時から子どもたちのミニ門松の作成も始まりました。豊里様から説明を受け、子どもたちも独自のセンスで、ミニ門松を作っていました。私の家の分も、2つ作った3年生の井上美也さんに1つ分けてもらい、大満足! (^-^);



できあがった門松は立派に校門前に鎮座しています！

おやじの会の5年赤窄さん、岩永さん、3年山口さんと久保田さんが、とても立派な門松を、三原小の赤門前に設置してくださいました！山口さんを除き、ほとんど初めて作ったという方ばかりだったので、反省点はいろいろできましたが、初めてにしては上出来だと思います!! 和気あいあいとお話しながらできたので満点の気分でした！

3年の井上さんから作ってもらった門松は私の玄関へ！来年の運気を呼び込みます！

【後記】

この2年間、三原小はこの門松づくりに参加していなかったこともあり、私も今回初めて参加させていただきましたが、まず驚いたのが、関わってくださっている方の多さ！コロナ禍で、なかなか今までお会いできなかったのですが、やっと地域の一員になれたようで、とても嬉しかったです。このような地域の方々にしっかりと学校を支えていただいているのだなあ実感しました。また、いろんな方が集まり、コミュニケーションを深め、地域全体を活性化していくのだなあ、今更ながら実感しました。

翌日、立哨で赤門前に立っていたら、地域の方から「昨日はお疲れさまでした！」と声をかけられ、嬉しくなりました。おかげさまで、よい年が迎えられそうです！